
平成 31 年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成31年 3 月 6 日

質問者（質問順）

- 1 小 松 範 昭 委 員（自 民 党）
- 2 高 橋 徳 美 委 員（自 民 党）
- 3 麓 理 恵 委 員（民 権 フ）
- 4 尾 崎 太 委 員（公 明 党）
- 5 岩 崎 ひろし 委 員（共 産 党）
- 6 山 田 桂一郎 委 員（ヨ コ 会）

建 築 局

局 別 審 査

1 小 松 範 昭 委員（自民党）

1 31年度建築局の予算編成の考え方について

(1) 31年度の建築局予算編成に対する所感について伺いたい。

2 災害救助法改正に伴う応急仮設住宅の取組について

(1) 災害時の住宅対策に関する救助実施市の指定の効果について伺いたい。

(2) 救助実施市指定に向けた具体的な取組について伺いたい。

(3) 31年度の取組について伺いたい。

(要望) 市民の安全・安心のため、しっかりと対策を進めていただきたい。

3 コンクリートブロック塀等の安全対策について

(1) 今年度の補助実績について伺いたい。

(2) 31年度の取組について伺いたい。

(3) 改善の促進に向けた意気込みについて伺いたい。

(要望) 市としても早期の改善につながる指導なども含め、しっかりと推進していただきたい。

4 管理不全空家の対策強化について

(1) 指導強化の具体的内容について伺いたい。

(2) 自主改善を促すための所有者への支援策について伺いたい。

(3) 空家に特化した更なる取組の方向性について伺いたい。

(意見) 自主改善の促進が図られるよう、空き家特有の課題に対応できる施策を充実していくことを期待する。

5 十日市場周辺地域における持続可能な住宅地推進プロジェクトについて

(1) 20・21 街区整備の進捗状況について伺いたい。

(2) 民間活力の導入を図りながら多様な住まいや生活利便施設等をどのように誘導してきたのか伺いたい。

(要望) 十日市場の取組が、民間企業と連携したまちづくりの試金石となり、その成果を今後の郊外住宅地の再生に生かしていってほしい。

(3) 十日市場のまちづくりの手法を今後の郊外住宅地再生にどう生かしていくのか伺いたい。

(意見) プロジェクトの着実な推進に期待する。

6 用途地域の見直しについて

(1) 生活利便施設の立地誘導について不動産業界団体へのヒアリングで得られた意見がどのようなものだったのか伺いたい。

(2) 将来を見据え、特別用途地区の指定など様々な手法を駆使し、生活利便施設の立地誘導を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今年度の成果をしっかりと取りまとめ、横浜の将来を描くロードマップとなるよう、この先の検討について着実な進捗を強く要望する。

7 土地利用転換時の調整について

(1) マンションの供給状況の検証を行った背景と検証結果について伺いたい。

(2) 検証結果を受けての今後の取組について伺いたい。

(要望) 都市の活性化につながる重要な取組であるので、引き続き、より良い土地利用に向け調整を図っていただきたい。

8 建築物の木材利用の促進について

(1) 建築物の木材利用の促進に向けた決意について伺いたい。

(意見) 建築物への木材利用を後押しする様々な技術開発や建築基準法の改正、さらには森林環境譲与税の創設などの機会をしっかりと生かし、積極的に木材利用を進めていくことを期待する。

2 高橋徳美委員（自民党）

1 狭あい道路の一体的な整備促進について

（１）今までの路線型整備の実績について伺いたい。

（２）路線型整備の課題について伺いたい。

（意見）防災・減災対策として、狭あい道路の拡幅整備を推進するため、路線型整備をもっと進めていくべき。

（３）路線型整備の今後の取組の考え方について伺いたい。

2 宅地造成等規制法の許可手続きと盛土造成地の安全性について

（１）盛土造成における具体的な審査内容について伺いたい。

（２）中間検査及び完了検査の検査内容について伺いたい。

（３）宅地造成等規制法の審査、検査の体制について伺いたい。

（要望）今後も市において、法令の技術基準に基づいた審査や検査業務にしっかりと取り組んでいただき、盛土造成地をはじめとする宅地の安全性を確保することで、行政としての役割を果たし、市民の方々が安心して暮らせるようにしていただきたい。

（４）大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の現在までの取組について伺いたい。

（５）地元説明会における住民の反応や出された主な意見について伺いたい。

（６）住民の意見を踏まえどのように調査を進めていくのかについて伺いたい。

（要望）調査により悪い結果が出た市民の方々に寄り添い、今後どのような支援を行っていくのか検討していただきたい。

3 高齢化が進む市営住宅の建替えについて

（１）共益費の徴収方法の見直しにおける検討状況について伺いたい。

（要望）指定管理者等が徴収すると、共益費が高額になることも考えられ、あまり共益費が高額になると住民の方々に負担がかかるため、引き続き課題として検討していただきたい。

- (2) 建替後の建物について、高齢者に対し、どのように配慮するのか伺いたい。
(要望) 役員も高齢化が進んでいるため、高齢者から若い方々までと一緒に暮らせる住宅を整備していただきたい。
- (3) 瀬戸橋住宅、六浦住宅、瀬ヶ崎住宅の建替えの考え方について伺いたい。
(要望) 住んでいる方々に早くご意見を聞いて、転居される方には早く転居できるよう支援していただきたい。

4 新市庁舎整備事業の推進について

- (1) 整備がここまで進んできたことに対する局長の所感について伺いたい。
- (2) 最後の1年で工事を円滑に進めるための課題について伺いたい。
(要望) 残された課題を解決しながら円滑に事業を進めてもらいたい。
- (3) 予定通りの完成に向けた決意について伺いたい。
(意見) 最後まで気を緩めることなく全庁一丸となって、プロジェクトが進むことを期待する。

3 麓 理 恵 委員(民権フ)

1 崖地防災対策について

- (1) がけ地防災・減災対策工事助成金制度のそれぞれの目的について伺いたい。
(意見) 崖地対策を推進するためには、がけ地減災対策工事助成金制度がもっと活用されるべき。
- (2) がけ地減災対策工事助成金制度を利用する上での課題について伺いたい。
- (3) 崖地の改善につなげるための今後の取組について伺いたい。
(要望) 制度の周知に力を入れていただきたい。
(意見) 助成金制度など、様々な取組を通して、崖地の改善が進むことを期待する。

2 通学路上のブロック塀等の改善に向けた取組の推進について

- (意見) 現場確認を行って終わりではなく、今後も、行政が所有者に対して継続的に改善に向けた支援や働きかけを行っていくことが大切である。
- (1) ブロック塀等の現場確認後の取組状況について伺いたい。
- (2) 来年度の取組内容について伺いたい。
(意見) 取組の成果が上がり、地域の皆様が一日も早く不安解消できることを期待する。

3 大規模団地の再生について

- (1) よこはま団地再生コンソーシアムでのこれまでの検討内容について伺いたい。
- (2) 団地再生の取組を始めていない団地をどうしていくのか伺いたい。
- (3) 団地再生を区局が連携して取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
(意見) 更に団地再生を進めるために、関係区局がチームとなって対応していくとともに、外部の様々な関係者とも連携し、他都市の成功事例を参考にするなど、これまで以上にしっかりと進めていただくことを期待する。

4 相鉄いずみ野線沿線地域における持続可能な住宅地推進プロジェクトについて

(1) 若い世代の転入を促すためのこれまでの取組について伺いたい。

(要望) 東部方面線の開業を控え、包括連携協定は来年度から更新されるため、若い世代の転入を促すことに一層取り組んでいただきたい。

(2) 次期協定での、若い世代の転入を促すための取組について伺いたい。

(意見) 地域交通の充実を図るなどして、駅から離れた住宅地にお住まいの方々にも、このプロジェクトの取組成果が実感できるような取組を期待する。

(3) このプロジェクトをどのように、沿線全体に展開していくのか伺いたい。

(意見) 郊外部をどう活性化していくのかが、持続可能な横浜市を作っていくことになるため、プロジェクトをしっかりと進めていただくことを期待する。

5 用途地域の見直しの検討について

(1) 30年度の具体的な検討状況について伺いたい。

(2) 土地利用動向の分析を進める中で見えてきた課題について伺いたい。

(3) 見えてきた課題に対する今後の検討の進め方について伺いたい。

(意見) 市民の皆様のご理解を得られるよう、これからも十分な検討を重ね、結果的に魅力ある郊外住宅地の形成に繋がるよう期待する。

6 住宅セーフティネット制度について

(1) 現在の登録住宅の戸数と家賃補助付きセーフティネット住宅の戸数について伺いたい。

(2) 戸数の増加に向けたこれまでの取組について伺いたい。

(意見) 住宅の確保が困難な方は、住まいだけでなく、福祉的な課題を抱えている方が多く、安心して住み続けるための支援を行っていくことも重要である。

(意見) 住宅の確保が困難な方が、安心して暮らしていくためには、登録住宅と居住支援の取組を一体となって推し進めていくことが重要である。

(3) 住宅セーフティネット制度の今後の取組について伺いたい。

7 総合的な空家等対策の推進について

- (1) 専門家団体による相談の件数や内容について伺いたい。
- (2) 様々な相談内容を適切に専門家団体へつなぐ仕組みが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 空家所有者に対する活用補助の具体的内容とねらいについて伺いたい。
(要望) 多くの方に本補助制度を周知し、活用につなげていただきたい。
(要望) 特定空家についても、主体性を持って取り組んでいただくことを要望する。

1 特定建築物の耐震化について

（１）大規模建築物の改修に向けた取組の状況について伺いたい。

（要望）所有者の方に耐震化の必要性を十分に理解していただき、設計や改修に繋がっていただきたい。

（２）沿道建築物の耐震化に向けた取組について伺いたい。

（要望）個々の事情に応じたニーズを把握していただくともに、所有者に寄り添った継続的な支援により、しっかりと取り組んでいただきたい。

（３）特定建築物の耐震化の推進に向けた局長の決意について伺いたい。

（意見）建物の耐震化の推進のため、行政の支援や改修、建替えに向けた粘り強い働きかけを期待する。

2 崖地対策について

（１）土砂災害特別警戒区域の指定要件について伺いたい。

（２）大きな崖地を改善するための取組について伺いたい。

（３）既存の制度では改善が難しい崖地の所有者に対する今後の支援について伺いたい。

（要望）崖地の改善が少しでも進むための工夫をしていただきたい。

（要望）急傾斜地崩壊対策事業については、国や県に対して、国費導入基準の緩和や事業費の増額などを継続して働きかけていただくことを要望する。

3 コンクリートブロック擁壁等の取組について

（１）コンクリートブロック擁壁の改善もブロック塀の補助制度で対応できるのか伺いたい。

（意見）ブロック塀の改善事業の機会を捉えて、歩行者の安全のため、道路に面する擁壁については、撤去や造り替えを進めていくべき。

（２）擁壁等のさらなる改善に向けた取組について伺いたい。

(要望) コンクリートブロックと一体的な擁壁など、様々な形態のブロック塀等の改善に向けてしっかりと取り組んでいただくとともに、市民の皆様に対するわかりやすいご案内などの工夫をお願いしたい。

4 市営住宅の募集について

(1) 最近5年間の市営住宅における応募世帯別の人数比率の変化について伺いたい。

(2) 最近5年間の高齢単身者世帯及び子育て世帯に対する募集方法の工夫について伺いたい。

(要望) 今後も、市営住宅へのニーズや居住状況に対応した、様々な工夫を継続していただきたい。

(3) 市営住宅の入居の際の連帯保証人の取扱いを見直すべきと考えるが見解を伺いたい。

(要望) 引き続き、市営住宅を必要とする方々に対して、寄り添った施策を実現していただくよう要望する。

5 管理不全な空家への対策について

(1) 緊急的な対応に関する具体的相談内容について伺いたい。

(2) 現在、実施している緊急的な対応の内容について伺いたい。

(3) 条例の制定に向けた意気込みについて伺いたい。

(要望) 地域住民の安全確保のために、社会的課題の解決という角度で、スピード感を持って条例化の検討を推進していただくことを要望する。

6 建築物の省エネルギー化について

(1) 建築物の省エネルギー化に関する取組について伺いたい。

(2) 建築局の取組による省エネルギー化の効果と、市民にわかりやすく伝えるための取組について伺いたい。

(3) 建築物の省エネルギー化の課題について伺いたい。

(意見) 省エネルギー化を進めるためには、市民が必要性或メリットなどを十分に理解し、取り組み、日々の生活の中でその効果を実感することが重要である。

(4) 31年度の普及啓発の取組について伺いたい。

(要望) 新築住宅だけでなく、既に住宅を購入している市民が経済的、心理的負担が少なく取り組める省エネルギー化の方法や工夫なども情報提供いただき、市民生活に直結するような普及啓発を要望する。

(5) 温暖化対策に対する意気込みについて伺いたい。

(意見) 「ゼロ・カーボン・ヨコハマ」に向けたオール横浜での取組、さらには、建築局における市民生活に直結した具体的な取組と成果を期待する。

5 岩崎ひろし 委員（共産党）

1 中外製薬の開発計画に伴う浸水増大の不安解消について

（要望）当局は、地元の事情をしっかりと受け止めて対応してほしい。

（１）開発許可申請前までに行う協議項目とその所管、現在の状況について伺いたい。

（２）開発許可申請以前の段階であるのか確認したい。

（３）開発許可を所管する建築局としての不安解消への取組について伺いたい。

（要望）横浜市でも浸水対策を行っているが、不安解消に向けた更なる浸水被害増大への取組を要望する。

（４）浸水対策は、関係部署と事業者との協議、及び地元の理解が欠かせないため、丁寧な対応をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

（５）昨年（平成30年1定：予算特別委員会の総務局審査）の渡辺副市長の「地元の皆さんに安心していただけるよう、今後とも指導・要請を行っていく」という答弁があったが、その答弁を堅持するのか伺いたい。

（要望）地元のみなさんへの丁寧な対応を要望する。

2 市営住宅の一般修繕に係る課題について

（１）修繕費の負担区分を定めた「市営住宅条例第26条」及び「同施行規則第28条」の内容について伺いたい。

（２）修繕費の負担区分について、市の担当部署と指定管理者とで共有されていないのではないかと考えるが、認識を伺いたい。

（意見）紹介した色々な問題は、一般修繕の予算があまりにも少ないことに原因がある。

（３）29年度決算の市営住宅使用料総額及び修繕費総額、そのうちの一般修繕費について伺いたい。

（４）住戸改善事業の実績について、団地名及び築年数で伺いたい。

(意見) 30年も40年もリニューアルしていないということであり、通常の賃貸住宅の概念からすれば、大家の役割を果たしていない。

(5) 港南区及び磯子区を含む2つのブロックの31年度の一戸当たりの修繕費の見込みについて伺いたい。

(6) 2つのブロックの29年度修繕申し出件数と、申し出への対応方法について伺いたい。

(7) 野庭住宅の床を張替えた費用について伺いたい。

(8) 一般修繕費予算額があまりにも少ないと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 修繕に関わる予算を増額し、市が大家としての責任を果たすよう強く要望する。

1 マンションの管理不全・防災対策について

(1) 老朽マンションの今後の増加予測について伺いたい。

(意見) 危険な集合住宅に使用停止や解体手続きがすぐ取れるように、行政が介入できる仕組みを早急に整えるべき。

(2) マンション管理不全の未然防止のための支援策について伺いたい。

(3) マンションの住民による防災対策の取組について伺いたい。

(4) マンション防災について、管理組合へどのような働きかけを行っているのか伺いたい。

2 局未来プロジェクトについて

(1) 局未来プロジェクトの、7年間で振り返った取組の成果について伺いたい。

(2) 31年度の検討テーマと、その概要について伺いたい。

(3) 局未来プロジェクトの検討プロセスについて伺いたい。

(意見) 建築局を発信源に局外とも連携をとりながら、限界マンションやタワーマンション対策など多面的に先進事例や時代に即した課題解決を図るプロジェクトに発展していくことを期待する。

(4) 局未来プロジェクトに対する局長の思いについて伺いたい。

3 長寿命化対策事業について

(1) 市民利用施設の点検や調査について、どう取り組み、長寿命化工事に繋げているのか伺いたい。

(2) 長寿命化対策工事の具体的な優先順位の付け方について伺いたい。

(3) 緊急対応が必要となった不具合について、どう取り組んでいくのか伺いたい。

4 建設関連産業活性化支援事業について

(1) 若年者雇用対策について伺いたい。

(2) 30年度の横浜市建設関連就職フェアの評価について伺いたい。

(3) 建設業界での女性の活躍のために、建設業界で働く女性が活躍している様子をPRしたり、女性が働きやすい環境整備の後押しをするなどにより、建設業の魅力を高めて発信していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 局を挙げて、様々な社会ニーズや課題を乗り越えていくことを期待する。